

# R2年大豆栽培農事メモ(第2号)

令和2年6月25日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任農業協同組合

的確な**培土**は株元までの土寄せが肝心！！

## I 生育状況

- 管内の播種始期は5月28日、盛期は6月1日、終期は6月11日頃で、
- 晴天が続いたことで播種作業は順調に進みましたが、乾燥とその後の降雨の影響で、一部出芽ムラができています。
- 生育の早いほ場では本葉2～3枚、6月上旬播種では本葉1～2枚目が展開し始めています。

## II 中耕・培土の実施

実施のねらい

★排水性の改善 ★土壌の通水性向上 ★根と根粒菌の発育促進 ★雑草発生抑制 ★倒伏防止

### 実施時期の目安

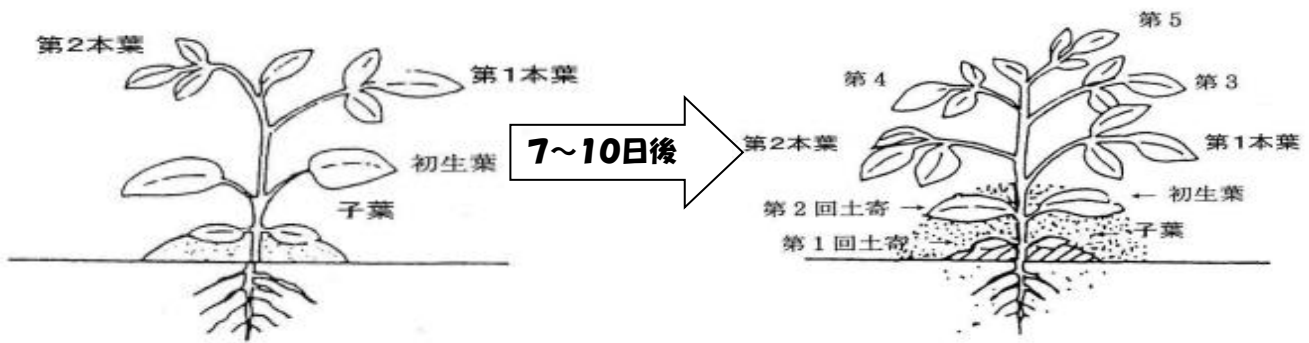
- ☆ 下表を参考に適期に中耕・培土を行いましょう。(播き直したほ場は時期に注意)
- ☆ 雑草の発生が目立つ圃場は早めに培土を実施して下さい。
- ☆ 培土作業は土の上がりをするため、できる限りほ場が乾いている時に行いましょう。

1回目中耕・培土 : 本葉2～3枚頃に子葉が埋まる程度 ……播種後 20～25 日頃

2回目中耕・培土 : 本葉5～6枚頃に初生葉が埋まる程度…播種後 30～35 日頃

1回目(播種後20～25日頃)

2回目



### 《注意点》

- 培土作業は、開花期前の7月中旬頃までに終わらしましょう。開花期以降では根が傷み、水分吸収を阻害し、着莢数が低下する恐れがあります。
- 培土は「山型」！茎元まで覆いましょう

この部分に土がかからないと…



- ・水たまりができる(湿害)
- ・雑草が繁る(生育抑制、コンバイン収穫困難)
- ・土がないので新根が伸びない(生育不良)
- ・倒伏しやすい(機械刈り困難)

### 《中耕・培土開始時期の目安(播種時期別)》

| 播種時期    | 6月      |         | 7月     |                     | 8月      |
|---------|---------|---------|--------|---------------------|---------|
|         | 16日～21日 | 21日～26日 | 6日～11日 | 11日～16日             | 21日～26日 |
| 5/26～31 | 第1回     | 第2回     | 開花期    | 里のほほえみはエンレイより2日程度遅い |         |
| 6/1～5   |         |         |        |                     |         |
| 6/6～10  |         |         |        |                     |         |
| 6/11～15 |         |         |        |                     |         |

### Ⅲ 追肥の実施（大豆一発肥料を用いた場合を除く）

生育量の増大確保、子実肥大の促進のため、開花期までに必ず追肥を施用しましょう。

| 資材名   | 施用量         | 施用時期           |
|-------|-------------|----------------|
| 硫安    | 10kg/10a    | 2回目の培土時または開花期前 |
| NK17号 | 11~13kg/10a |                |

※培土ができなくても、開花期までに必ず追肥を施用しましょう。

### Ⅳ 雑草防除

大豆生育期の雑草対策は、中耕・培土の徹底が基本です。

除草剤を使用する場合、圃場に発生している雑草の種類（イネ科雑草・広葉雑草）に応じて適切な薬剤を選定し、遅れずに散布しましょう。

| 除草剤名           | 適用雑草名                     | 使用時期  | 10a 使用量<br>(希釈水量)                              | 使用方法                      | 使用回数 |
|----------------|---------------------------|---|--|---------------------------|------|
| 大豆バサグラン液剤      | 一年生雑草<br>(イネ科を除く)         | 選択性<br>大豆の2葉期～開花期前<br>(雑草生育初期～6葉期)<br>〔収穫45日前まで〕                          | 100~150ml<br>(100L)                            | 雑草茎葉散布<br><br>または<br>全面散布 | 1回   |
| ポルトフロアブル       | 一年生イネ科雑草<br>(スズメノカタビラを除く) | 選択性<br>雑草生育期イネ科雑草3~10葉期<br>〔収穫30日前まで〕                                     | 200~300ml<br>(100L)                            | 雑草茎葉散布                    | 1回   |
| ナブ乳剤           | 一年生イネ科雑草<br>(スズメノカタビラを除く) | 選択性<br>雑草生育期イネ科雑草3~5葉期<br>〔収穫30日前まで〕<br><br>雑草生育期イネ科雑草6~8葉期<br>〔収穫30日前まで〕 | 150~200ml<br>(100~150L)<br><br>200ml<br>(100L) |                           | 1回   |
| バスタ液剤          | 一年生雑草                     | 非選択性<br>雑草生育期 畝間処理<br>〔収穫28日前まで〕  | 300~500ml<br>(100~150L)                        | 雑草茎葉散布                    | 3回以内 |
| プリグロックスL       | 一年生雑草                     | 雑草生育期 畝間処理<br>(雑草草丈30cm以下)<br>〔収穫3日前まで〕                                   | 600~1000ml<br>(100~150L)                       |                           | 4回以内 |
| ラウンドアップマックスロード | 一年生雑草                     | 雑草生育期 畝間処理<br>〔収穫前日まで〕  | 200~500ml<br>(50~100L)                         |                           | 2回   |

※ナブ乳剤と大豆バサグラン液剤を混用すると効果が低減します。

※【非選択性】の薬剤は、大豆にかかると枯れてしまうため、畝間処理の際は注意しましょう。

※バスタ液剤、プリグロックスL、ラウンドアップマックスロードは、畦畔散布も使用回数に含まれます。

※除草剤の使用にあたっては、使用基準を守り、散布の際には風向きに注意するなど周辺に薬剤が飛散しないように十分に注意しましょう。

#### ○畦畔に除草剤を使用する際の留意点

- ・生育期間中の「だいず」に登録のない除草剤は、使用できない(例:2, 4-D、サンファーロン液剤)
- ・大豆田の間にある畦畔 → 「だいず」に登録のある除草剤を使用
- ・大豆田と水田の間にある畦畔 → 「だいず」と「水田畦畔」両方に登録のある除草剤を使用